

高天神城マイクラで復元

きょうから公開地形忠実に再現

掛川市



マイクラフトで復元した高天神城を舞台に行われた攻城戦
＝掛川市役所

戦国期に徳川氏と武田氏が激しい攻防を繰り広げた高天神城(掛川市)をゲーム「マイクラフト」の世界に「復元」する試みを進めていた掛川市は1日、完成を報告した。常葉大造形学部有志の協力を得て、断崖絶壁の地形や城郭の形な

どを忠実に再現した。2日から公開する。マイクラフトは、さまざまな素材のブロックで構造物を組み立てるゲームソフト。ユーザーが城郭に手を加えて自分だけの高天神城を作ったり、徳川方と武田方に分かれて攻城・籠城

戦を楽しんだりできる。独自の城を作り込めるシングルプレーは2日、対戦などのマルチプレーは10月中旬ごろに公開する。

1日はデジタルの日に合わせて、お披露目イベントを市役所で行った。同大の6人と市職員が徳川軍と武田軍に分かれ攻城戦に挑戦した。

制作に当たっては同大の有志が実際に現地を訪れてリアリティーを追求する半

面、プレーのしやすさを求めて配色などに独自の工夫も凝らした。3年の青島合花さん(20)＝藤枝市＝は「(制作の中で)山城が攻めにくい理由がわかった」と話した。

市観光交流課の担当者は「難攻不落と言われるゆえんを味わってもらいたい。現地に足を運ぶきっかけになれば」と期待した。

(掛川支局・山本萌絵佳)